

NISSHA 株式会社

「2026 年 12 月期第 1 四半期 WEB 決算説明会」

質疑応答の要旨

(2026 年 5 月 12 日開催)

- Q1. 産業資材において、サステナブル資材（蒸着紙）の需要が第 2 四半期以降に回復基調となる背景は何か。
- A1. 蒸着紙の主な用途である飲料ラベル向けの需要変動によるものである。季節要因やお客さまの在庫増減など通常の需要サイクルの範囲と見ている。
- Q2. 産業資材の営業利益率について、今後どのように改善していく考えか。
- A2. モビリティ向け外装機能部品で複数案件の生産立ち上げが進行しており、先行的なコストが発生している。下期にかけて量産が安定化し、ボリュームが拡大していくことが利益率改善の主なポイントになると考えている。
- Q3. ディバイスにおいて、売上高が大きく減少する中でも黒字を確保できた要因と、第 2 四半期に売上高が増加しても営業利益率が第 1 四半期と同水準にとどまる理由は何か。
- A3. 第 1 四半期と第 2 四半期の生産アロケーションを平準化し、固定費の偏りを抑えたことで第 1 四半期の黒字を確保した一方で、この平準化により第 2 四半期では稼働益が限定的となる。また、第 2 四半期には買収関連費用も計上される見込みであり、営業利益率が第 1 四半期と同等水準になる。
- Q4. メディカルテクノロジーからメディカルへ開示セグメントを変更した背景は何か。
- A4. 医療機器 CDMO と医薬品 CDMO を分けて開示していたが、分かりにくいとの投資家からの指摘もあり、今回からメディカルセグメントとして統合して開示することにした。なお、医療機器 CDMO および医薬品 CDMO にはそれぞれの責任者がおり、その上位の取締役が両分野を担当している。